

平成 28 年度「大阪府職業能力開発異業種交流シンポジウム」参加申込書

事業所名			
所在地	〒		
電話番号		Eメールで	以
参加者	役 職 名	氏 名 (ふりがな)	

※この参加申込書は、当日会場受付に提出してください。

◎参加は4名まで受付いたします。

◎参加ご希望の方は上記必要事項をご記入の上、12月2日(金)必着で「FAX」、「Eメール」または申込書のコピーを「郵送」により、大阪府職業能力開発協会 大阪府地域技能振興コーナー へてに提出してください。

申込み・お問い合わせ先

〒550-0011 大阪市西区阿波座 2-1-1 大阪本町西第一ビルディング 6 階

大阪府職業能力開発協会 大阪府地域技能振興コーナー

FAX : 06-6534-7511 Eメール : ginou@osaka-noukai.jp TEL : 06-64394-7833

◎ただし、定員になり次第受付を終了いたします。

◎受付終了後の申し込みに関り、Eメールにて回答いたします。

「大阪科学技術センター」案内図



— 基礎技能から暗黙知（勘・コツ）を次世代へ —

強みのある製品を
作るには？

勝ち組企業に
なるためには？

大阪府職業能力開発 異業種交流シンポジウム

「ものづくりとひとづくり」

製品に付加価値を
付けるには？

他社との差別化
“オンリーワン”に
なるためには？

日時 平成 28 年 12 月 6 日(火)

基調講演 13 時～14 時 30 分

パネルディスカッション 14 時 40 分～17 時

場所 大阪科学技術センター (大阪市西区靱本町 1 丁目 8 番 4 号)

主催 大阪府職業能力開発協会 大阪府地域技能振興コーナー

協力 一般財団法人澁谷ものづくり人材育成研究所

後援 大阪府 (予定)



○第1部

基調講演

テーマ「中小企業の今日の課題と『働き、稼ぐ力』
ー求められる仕事力とはー

講 師

嘉悦大学 大学院 ビジネス創造研究科 研究科長 三井 逸友 氏

嘉悦大学 大学院 ビジネス創造研究科
「中小企業を研究・教育する」日本でただ一つの大学院。
「実践知」教育が、日本の未来を拓く。新しいビジネスを創造する、中小企業のあり方を徹底研究。
多様化する社会に貢献できる人材育成。

研究科長 三井 逸友 氏
中小企業による「ビジネス創造」と「経営革新」がひろがるために、またそれを担う企業家たちを育て、活躍の
場を築くためにはどうしたらよいのでしょうか。
「中小企業とは何か、どうあるべきか」に関する研究、中小企業を支える地域経済、法律・税務・会計、情報技
術に関する研究などに本大学院は力を入れています。
1947年生まれ。慶應義塾大学経済学部、同大学院博士課程をおえ、駒澤大学、横浜国立大学に勤務（横浜国立大
学名誉教授）。その後、嘉悦大学大学院発展のために赴任、平成27年4月研究科長に就任する。
この間に、文教大学女子短大・関東学院大学経済学部・静岡大学人文学部・駒澤大学経済学部・専修大学大学院
商学研究科・北星学園大学大学院経済学研究科・早稲田大学大学院アジア太平洋研究科各講師、駒澤大学経済学
部・JETRO アジア経済研究所開発スクール・信州大学経営大学院各客員教授を歴任

ロンドン大学経済学政治学校(LSE)訪問研究員、ケンブリッジ大学応用経済学部(DAE)訪問研究員、キングスト
ン大学ビジネススクール中小企業研究センター(SBRC)客員教授

社団法人中小企業研究センター、財団法人商工総合研究所、財団法人国民経済研究協会、中小企業事業団中小企
業研究所、中小企業総合事業団、財団法人中小企業総合研究機構、財団法人機械振興協会経済研究所、財団法人
社会経済生産性本部、日本貿易振興機構、中央大学経済研究所などでの研究活動に従事

現職・学会関係
日本学術振興会産業構造・中小企業第118委員会委員（元副委員長）、日本中小企業学会常任理事（元会長）、日
本経済政策学会（元理事）、日本地域経済学会（元理事）、社会政策学会、産業学会、日本経営学会、日本 EU 学
会各会員 ISBCJ 日本中小企業国際協議会議長、JICSB 中小企業研究国際協議会日本委員会委員長 他

ホームページ <http://www.kaetsu.ac.jp/faculty/graduate/dialogue2.htm>

○第2部

パネルディスカッション

テーマ「ものづくりとひとづくり」
ー 基礎技能から暗黙知（勘・コツ）を次世代へ ー

事例発表・パネリスト

株式会社コダマ 専務取締役 児玉 義弘 氏

コダマ宣言 「日本一信頼されるめっき屋になる」
・理念浸透型経営を目指して
私たちは、経営理念である「コダマ宣言」を大切にしています。コダマは、全社員、そして、その家族の人みん
なを最も大切な財産であると考え、幸福にすること。一つ一つの製品に愛情と責任を持ち、お客様の信頼にお
応えすること。めっき技術を通じて、世界中の人が、より快適に生活できる、夢の社会を実現することを使命
としています。この、3つの使命の実現をするために、全社員が勉強会や会議、委員会活動、朝礼などの活動
を通じ、共に学び、共に成長できるよう頑張っています。
ホームページ <http://www.fm-007.com/>

株式会社三星 総務部 課長 松本 裕介 氏

「会社が動かないと、従業員は動かない！」
・人材育成は「必要」とは分かっていたが、やり方がわからなかった。
・技能検定があるのは知っていたが理解に乏しかった。
・上位級への学習方法や、そのスキルが無い…
・マイスター制度を利用することの利点
実際に3級、2級と技能検定を取得する者が増えて参り、次は1級を目指す者も出てきました。次は私だ、とい
う風潮が生まれ、良い循環となっております。
個々人が高い目標を持ち、スキルアップすることが楽しくなり、ひいては自社の生産活動に大きく寄与されるの
が目に見えて分かるようになりました。
ホームページ <http://www.mtbs.jp/>

コメンテーター

嘉悦大学大学院ビジネス創造研究科 研究科長 三井 逸友 氏

コーディネーター

同志社大学 社会学部 産業関係学科 教授 石田 光男 氏

労使関係や人事制度について日本と諸外国の国際比較の研究に従事。最近にはトヨタとフォルクス・ワーゲンの工場の
品質管理や能率管理の比較研究に従事。現在はグローバル人的資源管理の研究に着手している。